

会議録（要点記録）

会議名称	令和4年度第1回小金井市安全・安心まちづくり協議会
事務局	地域安全課
開催日時	令和4年11月1日（火）14時00分～15時30分
開催場所	小金井市役所本庁舎3階 第一会議室
出席委員	<p>会長 千本木 勘博 委員</p> <p>委員 手塚 恵美 委員 福井 高雄 委員</p> <p>志垣 竜一 委員 反町 聡子 委員</p> <p>池田 美紀 委員 鈴木 健司 委員</p> <p>塩原 真一 委員 大澤 正男 委員</p> <p>岩田 實 委員 尾崎 庸子 委員</p> <p>青松 佐枝 委員 鴨下 敏明 委員</p> <p>佐藤 康博 委員 貞平 俊彦 委員</p>
欠席委員	<p>藤本 洋 委員 辻川 幸広 委員</p> <p>田村 裕一 委員</p>
事務局	<p>総務部長 加藤 明彦 地域安全課長 宮奈 勝昭</p> <p>地域安全課地域安全係長 宮腰 誠</p> <p>地域安全課地域安全係主任 堀 菜々子</p>
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 ・ 一部不可 ・ 不可
傍聴者数	0人
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 市長職務代理者副市長あいさつ</p> <p>3 委嘱状の交付</p> <p>4 委員自己紹介</p> <p>5 議題</p> <p>(1) 会長の互選及び職務代理者の指名について</p> <p>(2) 議席の決定について</p> <p>(3) 議事録の取り扱いについて</p> <p>(4) こがねいし安全・安心あいさつ運動推進月間経過報告等について</p> <p>(5) 小金井市防犯指針に基づく令和3年度の取組みについて</p> <p>(6) 小金井市防犯指針の改定について</p> <p>(7) 二小わんわんパトロール（都民安全推進本部長賞受賞）の活動について</p>

	(8) その他 6 閉会
会議結果	別紙「要点記録」のとおり
提出資料	資料1 小金井市安全・安心まちづくり協議会委員名簿 資料2 小金井市防犯指針（改定案） 資料3 小金井市防犯指針に基づく令和3年度の取組み等について 資料4 小金井市安全・安心まちづくり協議会規則 資料5 こきんちゃんあいさつ運動結果報告等 資料6 見守り通信 資料番号なし 子供見守り活動事例集

要点記録

1 開会

2 市長職務代理者副市長あいさつ

3 委嘱状の交付

4 委員自己紹介

5 議事

(1) 会長の互選及び職務代理者の指名について

会長は小金井・国分寺防犯協会選出の千本木委員、職務代理者は保護司会選出の大澤委員とする。

— 異議なし —

(2) 議席の決定について

協議会委員名簿の順とする。

— 異議なし —

(3) 議事録の取り扱いについて

小金井市市民参加条例に基づき、会議の傍聴を認め、会議録を公開する。会議録については、会議内容を要約したものを会議録とする。

— 異議なし —

(4) こがねいし安全・安心あいさつ運動推進月間経過報告等について

この運動は、挨拶を通して多くの人が地域に目を向けることにより、子どもたちの安全確保、地域の防犯力の向上を図るものである。平成21年3月に本協議会で「こきんちゃんあいさつ運動」の愛称がつけられ、同年9月から運動がスタートした。4月と9月には「こきんちゃんあいさつ運動推進月間」として、市内の小中学校や各協力機関にポスター、のぼり等の広報を依頼するほか、パトロールの強化や始業式にあいさつ運動を行うなど、多くの市民に参加してもらえよう、集中的に広報活動を実施している。推進月間の報告をする。例年どおり4月と9月に行い、青色回転灯装備車両13台から成るC o C oパトロール隊により、登校時の校門前でのあいさつ運動及び登下校時のパトロールを行った。詳細は資料5「こきんちゃんあいさつ運動経過報告等」のとおり。

(5) 小金井市防犯指針に基づく令和3年度の取組みについて

資料2「小金井防犯指針」について。防犯指針は、安全で安心して暮らすことのできる小金井

市の実現に向けた指針として、平成25年に市の指針として決定した。小金井市防犯指針は、施策に基づき大きく4つに分かれており、1、日常生活における安全安心の確保、2、市民の防犯意識づくり、3、地域における防犯ネットワークづくり、4、犯罪を起こさせないまちづくりとなっている。それぞれの取組内容は、資料のとおり。より具体的な取組内容については、資料3の「小金井市防犯指針に基づく令和3年度の取組み等について」のとおり。

【質疑応答】

・資料3の1ページ(1)地域防犯力の向上のうち、地域ボランティアによる防犯パトロールについて。防犯資機材支給数が、令和2年度が4団体45個、令和3年度が4団体21個ということで、半減している。何か考えられる要因はあるか。また、支給団体が4団体のみとなっているが、協力する団体は他にも多くあると思う。積極的にアプローチする必要がある。

→昨年窓口にいらした方から、コロナの影響によりみんなで集まってパトロールをするのが難しくなったという声があった。パトロール活動の縮小傾向というのも影響しているかと思う。積極的に活用してもらえよう、広報には力を入れていく。

・1ページ(2)で、学校等における安全対策について。令和2年度の防犯ブザーの貸与(小中学校)1,896件、令和3年度の防犯ブザー貸与(小中学校)1,913件と記載されている。防犯ブザーというのは、常識的には新小学校1年生に貸与するのかと理解していたが、中学生にも貸与されているのか。

→防犯ブザーの支給については、毎年、新小学1年生と、新中学1年生全員に配布をしている。

・2ページ(3)犯罪弱者の安全対策のうち、女性の犯罪被害防止の推進に関して。企画政策課が担当する「新成人のみなさんへ」という刊行物の配布対象はどうなるか。今年の4月から成人年齢が18歳になったということで、今年の配布対象が18歳となると、今年19歳になる方と20歳になる方は、この新成人へのインフォメーション、刊行物が受け取れないことになってしまう。

→この「新成人のみなさんへ」は、成人式の式典でお配りする。小金井市では、成人年齢は引き下がったものの、式典はこれまでどおり20歳の方を対象とする。今後、この刊行物はタイトルを変えた上で、引き続き20歳の方に配布することになる。

・防犯ブザーについて。配布した後、電池がなくなっていないか等、定期的に確認をするよう啓発するとよいと思う。

→所管課にて検討

・1ページの(2)子どもの安全確保について。子どもよりも親の自転車の乗り方に問題を感じることがある。学校等で行われる子どもの交通安全教室等に、親御さんも参加できるような機会があるとよい。

→所管課にて検討

・4ページの街路灯の整備について。夜間の横断歩道を照射する街路灯の整備も力を入れていただきたい。交通事故の防止につながると思う。

→所管課にて検討

(6) 小金井市防犯指針の改訂について

資料2「小金井市防犯指針（改定案）」について。1ページ目真ん中の太枠内に成果・活動の指標として、市の基本構想・基本計画に掲げている刑法犯の発生件数の目標値を記載しているが、基本構想・基本計画が改定されたことに伴い、新しい数値に改めたい。改定前には、令和2年度に999件を切ることを目標としており、実際は603件と目標を達成した。令和7年度に600件を切ることを新たな目標としたい。その他、地域防犯力の向上のところで、青色回転灯装備車両が1台廃車になったため、車両台数を14台から13台に変更する。それ以外は、現行の防犯指針のとおり引き続き取り組んでいくこととしたい。

— 異議なし —

(7) 二小わんわんパトロール（都民安全推進本部長賞受賞）の活動について

二小わんわんパトロールの皆さんが、令和2年度に都民安全推進本部長賞を団体として受賞した。この賞は防犯活動や地域の安全・安心に関する取組で特に功績のあった団体や個人に送られる。令和3年度には、代表者の尾崎さんが個人としても受賞された。本協議会委員でもある尾崎さんに活動の様子や防犯活動のポイント等をお聞かせいただきたい。

【尾崎委員報告】

この事業はPTAが管理をしており、私たちは地域のボランティアとして実働部隊をしている。犬の飼い主はほぼ毎日、散歩をしているが、愛犬の行動などに注意を払っており、日々の小さな変化に気づくことがある。そこを生かしてこの活動が行われている。活動の主な内容としては、児童と一緒に通学路を歩いたり、登校時に校門で見守ったり、児童と犬との触れ合いの場をもうけたりしている。登校時間を過ぎると、学校周辺の様子に目をやったり、時間に遅れた児童を見守ったりもしている。その他にも、夕方、日中、夜間、飼い主がそれぞれの時間に活動している。二小は登録数が多く、犬が約36頭、飼い主・家族が約50名登録している。

小金井市でPTAを母体としたわんパトが立ち上げられた経緯だが、当時の社会背景が大きく影響している。平成12年に世田谷の事件があり、それから2、3年後、平成15年に警視庁の世田谷署管内で、東京都で初めてわんわんパトロールが立ち上げられた。その後、奈良、九州、佐世保、栃木の兄弟虐待誘拐殺人等、児童をめぐる痛ましい事件が続き、オレンジリボン運動につながった。こうした社会状況の中、小金井市のPTA連合会で子どもの見守りについて話題になり、その中でわんパトについて、本町小、二小が関心を持った。私は当時、PTA連合会の役員で、また、愛玩動物飼養管理士、ペットケアアドバイザー、動物愛護法に基づく東京都の動物愛護推進員もしていたために、協力支援の依頼を受け、アドバイスをしながら、平成18年に本町小が、翌年には二小がわんパトを立ち上げた。立ち上げ当時、地域のほうで全面的に協力して、飼い主、メンバーを整えたという経緯がある。わんわんパトロールを実施する上で、防犯や見守りの意識はもちろん大切だが、同時に犬という動物と関わることになるため、二小では動物ふれあい教室という、犬への正しい接し方を学ぶ授業に発展していく。授業は1年生に対して実施しており、わんわんパトロールに登録している飼い主と犬が登場する。犬のかみつき事故が、幼児と小学校の低学年に非常に多いという統計がある。そういう安全面とか衛生面（犬を触った

あと手を洗う等の感染症予防)の懸念があるため、子どもたちへ教育・啓発を並行して進めてきた。二小の場合は犬との事故が今まで一度もない。

犬との安全な接し方の他にもう一つ大事なのが、飼い主の、適正な犬の飼い方である。この2点について、二小のわんパトの特徴と考える。畜犬登録、狂犬病の予防注射、マナー向上等を飼い主に啓発していく。東京都や環境省等、色々なところから資料を得て実施している。

わんパトを長くやっていると地域の方も関心を持ってくださる。人間の名前よりも犬の名前を覚えて、犬に声をかけてくださって、そこからコミュニケーションが始まり、自然に挨拶でつながるような状況になってきている。人間同士が最初にコミュニケーションを取るのはなかなか難しいが、犬の持つ能力が最大限に発揮される場面だと感じる。防犯協会からいただいているわんパトの表示をリードにつけているが、小金井警察や防犯協会と一緒にやっているのだというのを見て安心される地域の方もいる。

おわりに。小金井市は南に野川公園、北に小金井公園と緑に多く囲まれており、犬の飼い主が非常に多い。わんパトをやりたいという飼い主さんも結構いらして、希望者が愛犬と共に地域貢献できるような機会が増えると良いと感じる。

【質疑応答】

・市内には9つの小学校があるが、他の小学校の動向等はいかがか。

→学校としては、本町小と二小が活動している。あとは有志の町会が坂下と、最近緑町のほうでも立ち上げた。その他に梶野公園のわんわんパトロールがあるが、少し違う分野で、防災のためのわんわんパトロールとして活動している。

→前原小学校も昨年度からわんわんパトロールを始めた。あえて子どもの登下校に付き添うような形は取らず、犬を飼っている小学校の保護者にだけ周知をして、犬の散歩をしながら「ながら見守り」をしていただくという形で広げている。前原小学校はコミュニティースクールが始まり、そのつながりで、地域の方に少しずつ広がって、最終的に地域づくりにつながればよいと考えている。

・コロナの影響等はあるか。

→コロナ禍でも学校がある時は、よほど感染が広がったとき以外は、行ける人が少しずつ、距離を取って行くようにしていた。コロナで子どもの心が疲弊した状態が続き、わんわんパトロールの犬がセラピー犬の役割を果たしていたと思う。犬に接しているとき、子どもたちに笑顔がもどった。防犯の面もあるが、地域の子どもたちが健全に、楽しく学校に通えるように、感染に注意をしながら活動を続け、子どもたちの様子を注意深く見ていた。

(8) その他

・その他にコロナで変化等感じることはあるか。

→コロナで在宅勤務の方が増えたせいか、子どもの登校に御父兄が付き添うケースが増えた。自主的な防犯・見守りをしている方が増えたと感じる。

・東小付近で朝の登校見守りを5、6年している。踏切や大通りがあり、朝8時頃になると車や自転車が多く通る。1年生のお子さんが1人で登校してくることを考えると、通学の時間帯

だけでも、車や自転車の往来を制限できないか。警察も見に来てくださったが、実現はしていない。警察の方が立ってくださるようになって少しよくなったが、相変わらず自転車がすごいスピードで走っており、何とかならないかと感じている。

→小金井警察署と情報共有

・本協議会において意見提案シートを採用してはどうか。市民の方にそれを利用して意見や提案を提出していただくとよいと思う。

→次回以降採用する。

6 閉会